

3 その他(事務所からのお知らせ)

～ ナガボテンツキの復元へ ～

ナガボテンツキは、近畿RDBで絶滅危惧種A、兵庫県RDBでAランクの、テンツキに似た、湿地に生育する植物です。1995年 加古川水系の河川水辺の国勢調査にて10数株発見され、当時、兵庫県では未記録であり、非常に重要な発見とされていました。その貴重な植物を絶滅から救うため、兵庫県立「人と自然の博物館」 服部 保教授に御願いし、「ジーンファーム」に移植していただき、栽培株を増やしていただきました。

その後、ナガボテンツキは2000年・2005年の調査では発見されず、残念ながら絶滅したと考えられています。

姫路河川国道事務所では、～ ナガボテンツキの復元へ ～ と題し、服部 保 教授の御指導をいただきながら、加古川に試験的に移植することとしました。



ジーンファームで栽培中のナガボテンツキ

ナガボテンツキ (カヤツリグサ科)

近畿 RDB で絶滅危惧種A、兵庫県 RDB でAランク。本州から九州にかけての海岸近くに生育するとされている。加古川では河口より 2.3km の汽水域の湿性な土壌条件下に生育していた。テンツキに似る。

【参考】

- ・移植時期 :平成 20 年 3 月 8 日 (土) 予定
- ・場所 :加古川下流部
- ・実施担当課 :姫路河川国道事務所 調査第一課

「詳細は、姫路河川国道事務所ホームページにて近日公表」